

意見交換会実施報告書

令和6年2月19日

登米市議会議員 関 孝 様

第2班 代表者 中澤 宏

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和5年10月30日 午前10時00分 ～ 午前11時40分	
開催場所	豊里公民館	
出席議員	代表者：中澤 宏 司会者：相澤 吉悦 報告者：日下 俊、鈴木 実、遠藤 真理子 記録者：佐藤 千賀子、伊藤 善博、氏家 英人	
参加市民数	11 人	
実施内容	議会報告	・令和4年度意見募集に対する報告 総務企画常任委員会「災害に対する地域の備え」 教育民生常任委員会「再編により新設される中学校に望むことは」 産業建設常任委員会「地産地消推進事業について」
	意見交換	・『空き家対策について』 ・『どんな図書館がいいですか』 ・『農業を次世代につなぐためには』

2. 市民の質問・意見等

会場 で 回 答 し た も の	質 問	(空き家) 1. 行政区で空き家が増えた。鹿が住み着いていた空き家もあった。対策はあるのか。各町で何件位空き家があるのか。 ⇒ 登米市内に空き家は分かるだけで約 1450 件、まだ把握していない空き家 200 件ほどで、合計約 1650 件ある。豊里町には、確認してあるもの 71 件 (昨年度)。市での空き家対策は、空き家の発生の抑制、適正な管理の要請、空き家の利活用促進、危険な空き家の懸念から市民の安心安全の確保に努めている。しかし、なかなか追いついていないのが現状である。 2. 持ち主が仙台に住む豊里町内のお宅で、飛び出した杉が通行の邪魔になり、スクールバスの通行の妨げになっていた。その時は市に連絡して切ってもらった。また、道路沿いに危険で倒壊しそうな作業場が道路の方まで来ている。万が一、スクールバスが通る道路に倒れて来たらどうするのか。 ⇒ 区長を通して市に伝えていただければ対応すると思う。 (図書館) 3. 現在、図書館の建設場所は決まっているのか。 ⇒ 場所については現在、議論中である。市民が利用しやすい図書館になるように、議会の中でも集約か別の場所か、特別委員会の中で議論されている。市側からは一か所に集約の案が出されている。 4. 今ある 3 つの図書館の利用状況は。 ⇒ 全体の登録者数 (R3 年度) は 13400 人、貸出数は約 19000 冊貸し出している。迫図書館登録者数約 8000 人、登米図書館約 2000 人、中田図書室約 3200 人。 (農業) 5. 30～40 代の若い世代が農業をしたいと思っても、農業機械は何千万もする。補助金制度はあると思うが、市では助成金のようなものは出しているのか。 ⇒ 多額の設備投資が必要となるのが一番の課題。国でも課題は共有しており、少ない担い手で、同じ耕作面積を耕すのには機械化の導入ということで、簡単に無人でもできるスマート農業にするための補助金はたくさんある。市でやれるものは国県と比べて少額なものが多いので、行き届かないところはあるかもしれない。補助金の大きな流れとしては設備投資に関係するものが多くなっているし、今後も進んでいく。国にも色々とスマート農業についての要望も入れている。課題として捉えている。
	意 見	(図書館) 1. 一か所に集約した時の利用が見込めるのか気になる。 ⇒ 利用を見込んでいると思う。「登米市の未来を創る学びと交流の拠点」にしたいということで、シンボルとなる図書館を置く。今あ

	意見	る図書館や学校図書は、今後の議論ではあるが、ネットで結び付けたり、そこが窓口になったりとその辺りも検討されている。 2. 登米市は生涯学習やカルチャーがあまり育たない。図書館と、どのように結び付けていくのか。 ⇒ ここについて中心的に議論されて来なかったので、様々なご意見を委員会で議論し、議会でもテーマとして取り組まなければならないと感じる。 3. 各町域にある公民館、コミュニティを踏まえての図書館であれば工夫が必要ではないか。 ⇒ まだ委員会の中で議論している訳ではないが、きちんと公民館にもそういう位置づけをして、結びつけてはどうかという意見も出ている。皆さんの意見をまとめる形で議論をしていきたいと思っている。いただいた意見は全部委員会の中に出し、今後議論を進めていきたいと考えている。 (農業) 4. 登米市の農業は米、きゅうり、牛も生産者から見ても誇れるものである。もっとブランディング化をできないのか。米は三陸米になっているし、牛肉は仙台牛、きゅうりは生産者の意向があるが、わかりづらい。登米市は土壌が良く何でも美味しくできる。忘れ去られたと思うが「白いさつまいも」を生産したことがある。鹿児島のだらみより薬効成分がすべて優れていた。豊里の名産である「つくね芋」を活用し、「つくね芋うどん」を作った。こちらも、ねばりも成分も他より優れた結果となった。市でもっとブランディング化をすることによって、生産高売上高を高めていけば若い方々も出ていかず農業に着目すると思う。東京に住んでいたが、登米市の米は高いし品質が良い。購買層は増えてきていると思う。米を食べる人が減ってきてはいるが、JA や市も関わって全部でやれば、なんとかなるのではないかなと思う。 ⇒ 今の農業は環境保全米と銘打ち、関東の方でも売り出している。しかし、米の市場原理の中において生産者から買う時は高くない。我々も危惧している。野菜においても無農薬が良いのは分かるが、虫食いのものは売れない。商品価値として難しいところがある。牛についても「はさま牛」として出した生産者もいたが、ブランド認証を付け販路に乗せるには数量もコストも多く必要となり「仙台牛」に合わせるようになった。農業は国全体でしっかりやらなければと思うし、国会議員を交えて話をするべきだと思っている。 ⇒ 機能性表示食品や栄養表示食品の需要が出てきたのは確かである。昔は米を 60 kg 食べていたのが今は 30 kg になった。昔は強い消費に支えられていたが、現在は支えられなくなったところに、価格低下という大きな構造になってしまった。消費者に支えられるのがいかに大切かを考えた時に、消費者のニーズを調べてアピールすることや、可能性を探ることを怠けていたのかもしれない。ただ待っていて注文をもらうのではなく、良さを発信していくことが提案な
--	-----------	---

	意見	のだと感じた。個々ではなく、全体においても、特徴や強い消費に支えられる工夫やアイデアがこれからは必要なのだと感じた。 5. 農機具設備投資について、30代専門の農家だが、規模をもう少し広げたいが国県の補助金交付条件が厳しい。例えば今10町ある。倍の20町やりたいとなると、今の機械では対応できないため市、県、JAに相談したら、「お宅では30町やってください」と平気でいう。家族経営で行っているため20町が限度と説明しても、30町であれば助成金を出す20町では出せないと言われた。 ⇒ このことには訳がある。登米市だけではなく宮城県全部、国をあげて補助金の申し込みがあり、県内で誰が助成を受けられるか採択がある。国でも限られた予算なので、規模の大きい人を優先に採択する。市でもそのようには言いたくないと思うが、採択させたいために、規模を広げてほしいという言い方になってしまう。私も質したところそのような理由があった。相対的に国の予算が足りないということもある。 6. 農地を広げられず20町でどうかという相談をしたのに、できないことをやってください、できないなら補助金出せないと言われる。極端な話、零細農家は農家やめてくださいということなのか、死ねということか、という話があった。ランクが下がった農家にも支援を考えてもらいたい。 ⇒ 要望を出していきたいと思う。現在、小さい農家については、集落で相談してくださいという地域計画が進められている。例えば90～100歳まで田巡りならできる、機械までは持てない、という方は作業の大半を委託する。でも管理は自分が経営するというやり方もある。全部自力で最後まで手掛けなくても、やれる仕組みづくりにしていく相談を地域の中でしていただきたい。地域計画については市、農協、改良区が集まり考えている。ぜひ30代40代の方々にも話し合いの中心に入っていただき、課題を出していただきたいと思う。
	要望	(空き家) 1. 火災の懸念があるので、特に危険な空き家を早急に解体できないか。 ⇒ 特定空き家に対応している。市民から出された特に危険な空き家は適正管理対策会議で図られ対応しているが、所有者不明も多く進まないのが現状である。昨年度は2件、代執行を行っている。 (図書館) 2. 迫だけではなく、他の地域にも設置してはどうか。石越、津山、東和、米山など。各町域のバスを活用して、日時を決めて、市民を運ぶ。 ⇒ 現在、新図書館構想が策定され、検討が進められている。特別委員会の中でも議論されている最中である。
	提言	

	()	
会場で回答していないもの	質 問	
	意 見	
	要 望	
	提 言	
	()	
その他 特記事項		1. 登米市議会の傍聴にたまにいく。他市の議会と比べても緊張感が足りないと感じる。議案に対してすべて賛成で、議論が尽くされていないのではないかと感じる。2、3人下を向いてただ寝に来ているだけなのではないかと感じる。議員は市の下請けなのかと感じる。要望を出しても、市から何の音沙汰もない。言った人が馬鹿を見る形である。喧嘩しろという話ではなく、もう少し緊張感をもっていただきたい。 ⇒ 議案に対してすべて賛成という訳ではない。反対討論や賛成討論をする場合もある。一派からげでそのように話されるとうまくない。この意見については、しっかりと伝える。 ⇒ 議会が委員会制になったことで委員会での議論が深まり、本会議での発言は少なくなったように感じるかも知れない。始まったばかりの委員会制なので課題はある。公開制の議会であるが、庁舎が古いため設備が整っておらず、委員会について傍聴やインターネットの準備が進んでいないことも課題でこちらの反省点でもある。 ⇒ これまで登米市議会では、本会議制で予算決算について、全員で質疑をしていた。今年の6月議会から試行的に委員会制にし、3つある常任委員会で所管する部分を分けて、時間無制限にそれぞれ審議をすることができるようになった。自分が思うには委員会においては議論が白熱していると思う。 2. 豊里小・中学校でも校外学習、職場体験など町の方々に協力いただき体験学習をしている。それを子供達にどう活用して伝えていくかが教員側の努力である。総合的な学習の時間、生活科の時間は地域の方々のおかげで充実しているが、一方で不登校児童生徒の増加や支援が必要なお子さんが増えていて、学習支援員の配置はいただいているが、教員が四苦八苦して対応している。ボランティアさんに助けていただいているところもあるが、先生方は走り回っていて手が回らない状況である。来年度の教育予算が億単位で削減される話を聞いた。施設面で費用がかかるのは理解している。教員側の努力もさらにするが、子供達に手の行き届くような支援を考えて、助けていただきたい。 3. 部活動の地域移行に関して、国の施策がトーンダウンしているの

その他
特記事項

で受け皿もない。体験機会もないので一足飛びに進むのは難しいと思う。教員の働き方改革から考えると、先生方の在校時間、超過勤務時間は、上限を超えている。中学校で見ると、土日部活動の時間を除くとギリギリ 45 時間に収まる現状がある。時間はかかるかと思うが、教育の場の方の支援もいただきたい。

教育委員会から調査はされている。部活動に関しては昨年度も今年度も、顧問の意向調査はあった。「何日部活をしているか」や「今後地域移行になったらどうしたいか」など。徐々に教員側の意識も変わってきた。前回よりも「部活動は地域の人に任せたい」という意見が豊里では増えてきている。部活動での生徒指導も重要なことだと理解しているが、制約される時間が多く、授業準備に回らないといった負担感はある。

⇒ 実態と課題を共有した。教育長も現状は理解している。どういう子供たちを地域で育てたいか、どういう方々に地域で手伝っていただけるのか、目標をもって進めていきたいと教育長も話していたので、支援をさらに加速させるように話をしていきたいと思う。

⇒ 教育予算が減ったのはタブレットなどハード事業が減った事も少し原因していると思う。一般的なところは減っていないのではないかなと思う。昨年度は光熱費の高騰で補正が組まれたため下がったというのもあったかもしれない。

4. 地域のコミュニティ力が下がってきた。世代が変わり、続けられなくなり解散しているところもある。会費は納めるが、班長はできないとの話もある。町内会でやろうとしたお祭りや行事、改修の費用など市の予算の都合も分かるが、使いやすい形にできないか。市の政策では指定管理で示された公民館の生涯学習事業などを着々とやっているが、町内会でやろうとした時に、2分の1の助成を得るために3～4年かかってしまう現状。改修にあたっては結局、農協から借り入れして4～5年かかって返済する形にした。

合併からどんどん人口が減り、増えるという事はない。今いる人たちが住み続けるためにも、コミュニティの活動がより活発になるような施策に力点を置き、議会からもコミュニティに視点を置きアイデアを出していただけたらと思う。

5. 子供会の連合会もなくなった。会長だけはたまたま市の会長の役回りになったこともあり会長として残った。

他市のコミュニティ情報などがあれば知りたいし、どんどん情報を流していただきたい。市のコミュニティ連絡協議会の会議もあるが年に一度総会するだけで、具体的に市を盛り上げる施策などはないので、他の地域の良い取組など情報を流していただき、アイデアを探りたい。コミュニティ自体は市の付属の機関ではないので難しいと思うが、議会のほうでも政策を組んでいただきたいと思う。

⇒ 全くそうだなと思う。守るという部分と改善という部分はもう少し区分けして、補助のあり方をもう少し考えていかなければと思っていた。公民館の部分は、がんばる応援基金といって合併特例債を活用して基金を積んで運営しているが、令和12年までということで

	将来財源をどう作っていくかというのも課題ではある。熊本県の水俣市では水俣病問題もあり地域コミュニティの再生をどのようにしたかという、ごみ収集の分別を共有の課題にし、分別回収の成果をコミュニティに補助金として還元する形にした例もある。確かにこのまま行けば、コミュニティが消滅する、元気がなくなると思う。基礎自治体を強く見ていかなければならないと痛い指摘をいただいたと思う。みんなで考えていきたいと思う。 6. 公共的な所の樹木処分について。杉の木の処分の方針と処分できない理由を説明して欲しい。 ⇒ 持ち帰り伝える。 7. 本市に半導体メーカーの誘致をしてほしい。 ⇒ 県を中心に進められるので、県は来られる企業に最大の対応をす ると思う。
--	--